

# 令和3年度文化芸術イベント追い風事業 実績一覧表

No.	分類	団体名	事業名	開催日	参加者数	事業実績	記録画像
1	主催	文化があふれるまちづくり委員会	親子de文化祭	令和3年12月12日	1,025	市内外の子どもや保護者を主対象とした体験型の芸術文化イベントを委員会主催で開催した。各体験コーナーで公民館登録グループ、文化協会会員、邑久高校、寒風陶芸会館、ラデック氏などの芸術家などと連携を図り、相乗効果につながった。藪井佑介氏やおおい氏などのステージ、旭日亭さくら氏の司会などもイベントに花を添えた。コロナ禍の中で感染症対策を徹底し、1,025人が来場した。瀬戸内市の先生や先輩が見守る中、家族などとイラスト、将棋、書道、陶板づくり(ズグラフフィート)、日本舞踊、ヒップホップダンス、ドローン、小物づくり、クッキング、パソコン、お茶席など体験していた。目を輝かせて生き生きと体験する姿が印象的だった。なお、参加した子どもたちの作品展示には1,875人の来場があった。	
2	主催	文化があふれるまちづくり委員会	親子体験音楽会 & 倉敷管弦楽団室内楽コンサート	令和4年2月27日		新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度は中止。	
3	主催 (ホールパフォーマンス)	【主管】 ハラウ・フラ・オ・ウェリナ・ヒナレア	ホールパフォーマンス「ハワイの風と共に」	令和3年7月18日	56	岡山市のフラダンスチームによる自主公演。幼児から高齢者まで所属しており、各ユニットに分かれて古典フラを披露した。ホールパフォーマンス事業について理解しており、受付から記録係まで自主的に運営された。また、今後、瀬戸内市内のフラダンスチームとの共演などについて検討している。	
4	主催 (ホールパフォーマンス)	【主管】 せとうち子ども合唱団 ティンカーベル	ティンカーベルのクリスマスコンサート2021-Get over CORONA-	令和3年12月19日	336	12月のホールパフォーマンス事業として、コロナ禍の状況に十分配慮し、対策を徹底した上での公演となった。コロナを念頭に置いた公演内容になっており、ミュージカルに挑戦するなど、出演した子どもたちにとって文化芸術によって自身を表現できる貴重な機会となった。感染症対策について理解している関係者や来場者が多く、円滑な運営ができており、コロナ禍における一つの文化芸術イベントのあり方を示した事業となった。	
5	主催 (ホールパフォーマンス)	【主管】 前結び着付	竹久夢二前結び帯結ファッションショー	令和3年12月26日	160	市民や邑久高校生徒がモデルとなる市民参加型の「前結び帯結ファッションショー」を開催し、竹久夢二の世界観を着物や前結び帯結に関連付けて発信するなど、日本の伝統的な衣装のすばらしさを再認識する機会となった。体験型の子ども向け和太鼓コーナーもあり盛り上がりを見せた。市民、邑久高校、公民館登録グループ、和太鼓演奏者との連携により、郷土と着物を結び付ける一つの大きなイベントとなった。	
6	主催 (ホールパフォーマンス)	【主管】 箏曲三上社明寿会	新春の訪れと共に 箏曲明寿会 お弾き初め会	令和4年1月23日	92	瀬戸内市内において新型コロナウイルスの感染者が急速に拡大し、事業実施の判断などが困難な状況の中で、対策を徹底した開催となった。「春の海」など、箏曲や尺八などの演奏によって新春の叙情豊かな事業となった。来場者もコロナ禍の中で文化芸術に触れられる貴重な機会に喜び、大変満足していた。	
7	主催 (ホールパフォーマンス)	【主管】 せとうち青空★カンパニー	コラボレーションミュージカル 「青空城★星の旅人」	令和4年2月20日		新型コロナウイルス感染症の影響などにより令和3年度は中止。	
8	主催 (ホールパフォーマンス)	【主管】 大笑い一座	大笑い一座春の特別公演 「梟雄か英雄か！？～宇喜多 四代ものがたり～」	令和4年3月27日		新型コロナウイルス感染症の影響などにより令和3年度は中止。	
9	協賛	つなぐ会	第9回 つなぐ…展	令和3年10月9日～14日	280	瀬戸内市内の詩・絵、陶芸、前結び、食文化、デザイン、書道、写真、染色、絵画、糸あやつり人形、箏曲、茶道が集う総合的な文化芸術展。今年度も瀬戸内市立美術館で開催。好評を博した。	
10	協賛	瀬戸内市吟剣詩舞研究会	第10回瀬戸内市吟剣詩舞発表会	令和4年3月13日	300	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年の12月から3月に延期したが、市内の吟剣詩舞流派3団体、7グループの32名が出演、また、吟剣詩舞青年部や市外の出演者ら13名がゲスト出演し、大盛況となり、2階席を開放するほどの来場があった。出演者にとって意欲や意識の向上、生きがいにつながり、市民にとって貴重な伝統文化に親しむことができる機会となった。	
11	協賛	瀬戸内市合唱教育研究会	「響け、瀬戸内 晴天の音楽祭」 合唱コンサートの部	令和4年3月19日	200	新型コロナウイルス感染症の影響から、出演者の変更など運営面でも柔軟な対応が必要となる中で、対策を徹底して合唱コンサートを開催した。邑久高校の生徒が考案したイベント名も事業の情報発信に効果的であり、連携がとられた事業となった。	
12	協賛	瀬戸内市器楽教育研究会	「響け、瀬戸内 晴天の音楽祭」 器楽コンサートの部	令和4年3月20日	400	新型コロナウイルス感染症の影響から、中学校吹奏楽部の不参加などの中で、対策を徹底して器楽コンサートを開催した。酔聖会ウインドプラスの団員や野崎めぐみ委員など、すべての参加団体が率先して準備などに携わり、円滑な運営ができていた。合唱コンサートと2日連続の開催となったが、市内の音楽を好む方が多く入場し、久しぶりの本格的なコンサートを心から楽しむ姿が見られた。	
計					2,849		